

# 親子で楽しむ！ あいかわ森のようちえん

5月13日

終了報告



お天気が心配される中、15家族41名の参加者で村はにぎわいました。あいかわ森のようちえん（日帰り）の開催です。午前中、天気はなんとか持ちこたえて外ではじまりのつどいと緊張をほぐすためのゲームをしました。受付のときはみんな恥ずかしいのか小さな声でのあいさつでしたが、徐々に元気な声があがりはじめました。

少し休憩の後、親子一緒に村内の探検に出かけます。「あれはなんだろう。」と植物や虫などをよ〜く観察する子どもたち。おとなしく観察をしていたかと思えば、木登りがはじまりました。みんなものすごい速さで登って降りてを繰り返していました。



子どもだけでなく、大人からも「オトシブミだ。」と発見の声。親子での探検は互に見つけたものや遊びを共有できる良さがあります。

炊事場に着いたら親子分かれての活動。子どもたちは森の中へ、親はカフェタイムを楽しみます。子どもたちは森の中でクルミの殻を拾ったり、木のうろから互いにのぞきあったりと自然の不思議を体いっぱいを感じながら遊んでいます。みんな順番を守ってお尻滑りをして、楽しんだ分だけお尻を泥だらけにしていました。



子どもたちが森で遊んでいる間、親はコーヒーの焙煎に挑戦。みなさん焙煎は初めてのようで、とても熱心に参加していました。「煎り加減（豆の色）はこんな感じですかね。」とコーヒーの相談をし、大人だけの交流を楽しみます。



子どもたちが探検から帰ると、親はなにやら楽しそうなことをしています。子どもも混じってコーヒーを挽きました。午前中の活動を終え、昼食は持参弁当です。ほとんどの家族が屋外で家族団らんを満喫していました。昼食を食べ終わると、たき火がはじまります。



枝を拾っては投げ入れる子どもたち。そこで、みんなで枝拾いに出かけました。両手いっぱい枝を集めて得意げな表情の子も、火を目の前にすると少し腰が引けながら弱々しく枝を投げ込んでいきます。

たき火のあとは、みんなが燃やして作った炭でおやつタイムです。さっき昼食を食べたばかりなのに、マッシュマロをあっという間に食べ終わりました。



おやつタイムから天気は雨に変わりますが、子どもたちには雨なんて関係ありません。すぐにカッパに着替えて探検に出発。雨の中でも元気に木登りをしまたり、「見て見て、キノコ！」と雨が降って元気になったキノコを発見する子もいました。



1日の中で天気が変わり、その中での自然の変化を体験しました。普段やったら怒られてしまうようなお尻滑りやたき火を行って、とても満足していただけたのではないかと感じております。あいかわ森のようちえんは普段できないことができる場所として使っていただけたら幸いですし、これをきっかけに近くの公園などで小さな花や虫を追いかけてみてはいかがでしょうか。

【文責：石川】